



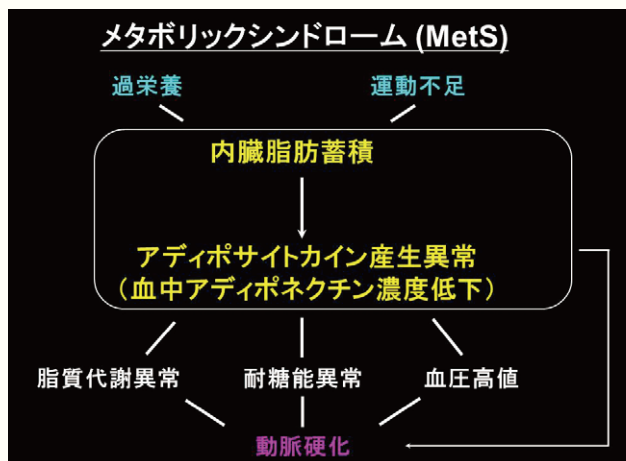
循環器内科部長就任ご挨拶

循環器内科 部長 藤田 幸一
(日本循環器学会専門医)



平成 25 年 7 月 1 日付けで循環器内科部長に就任いたしました。平成 21 年 4 月に川崎病院に赴任して以来、地域の先生方には大変お世話になっており感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

わたしは、火曜日と金曜日の循環器内科外来と、病棟業務では心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈インターベンション、ペースメーカ治療を含めた循環器診療全般を担当しております。また以前勤務していた大阪大学では、心不全やメタボリックシンドロームの研究も行っていました。近年わが国では、過栄養と運動不足を背景に虚血性心疾患などの動脈硬化性疾患が急増しています。メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪が蓄積することにより、インスリン抵抗性および糖代謝異常、脂質代謝異常、高血圧を合併し、心筋梗塞や脳卒中などの動脈硬化性心血管疾患になりやすい病態のことです。心筋梗塞発症者を調べてみると、日本人では特にメタボリックシンドロームに当てはまる人が多いことがわかっています。また内臓脂肪蓄積は、高度肥満者にも認められるというわけではなく、BMI が 25 未満でもウエスト周囲径の大きい内臓脂肪型肥満の人には蓄積していると考えられます。そして、メタボリックシンドロームによる最終結果としての心血管疾患は、働きざかりの人に発症することが多いことや、後遺症を残す可能性もあることからその予防が重要です。メタボリックシンドロームの場合、生活指導により食事療法と運動療法をおこない内臓脂肪を減少させることがまず第一の治療となりますが、生活指導で高血圧や糖尿病や脂質異常が改善しなければ薬物治療が必要です。また冠動脈疾患を含めた全身の動脈硬化性疾患を見逃さないことも大切です。川崎病院循環器内科では、冠動脈疾患や、下肢動脈など末梢動脈疾患の診断や治療に積極的に取り組んでいます。メタボリックシンドロームで動脈硬化性疾患が疑われる患者様がございましたら、当院に御紹介いただければ精査加療させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科 症例件数(平成24年度)

症例	件数
経皮的冠動脈形成術 (PCI)	316 件
内、緊急 PCI	59 件
冠動脈造影検査 (CAG)	403 件
血管内治療 (EVT)	86 件
内、経皮的動脈形成術 (PTA)	51 件
心臓超音波検査 (心エコー)	2,736 件
心臓核医学検査 (心筋シンチ)	602 件
冠動脈 CT	302 件
ペースメーカ植込術 (新規)	22 件

お陰様で、循環器内科では、この数年カテーテル手術が増加しており、平成 24 年度には PCI (経皮的冠動脈インターベンション) を 316 件、PTA (経皮的動脈形成術) を 51 件行いました。また新規のペースメーカ植え込み手術は 22 件でした。新病棟移転後の平成 25 年 1 月からは ICU/CCU 部門を設置し、2 月には新しい血管撮影装置を導入し、重度の心臓病患者様の増加にも対応できるようにしております。今後とも地域の先生方のお役に立てるよう努力していく所存です。川崎病院循環器内科をどうぞよろしくお願いいたします。

新入職 医師の ご紹介

歯科口腔外科医員 西尾 良介 (にしお りょうすけ)

専門分野: 歯科口腔外科全般

趣味: 旅行

一言メッセージ

神戸大学医学部付属病院での研修後に、兵庫県立がんセンターで2年間、口腔がん治療に従事してきました。患者さんや先生方のお役に立てるよう、ベストな治療を心がけて参ります。よろしくお願いたします。



